

今月号のテーマは、奈良県の令和4年度予算です。これまでの奈良県政は、県立病院の整備、幹線道路の整備、工場誘致の進展、障害者を含む雇用の増加、ホテル数の増加など、様々な分野で大きな成果が現れてきています。



奈良県知事

荒井正吾

また、10年前に比べて、県税収入が約220億円増加、自前の財源で返済する必要のある国の交付税措置のない県債残高が約750億円減少、ピーク時に比べて県債残高総額が約1000億円減少するなど、財政の健全化が進んでいます。

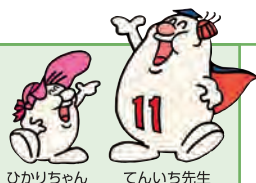
一方、リニア中央新幹線の全線開業、「奈良市附近駅」の設置が15年後の2037年に迫ってきています。リニア建設により発生する大量の土砂を鉄道貨物で搬送し、五條市に建設予定の大規模広域防災拠点の造成に役立てることとしています。鉄道貨物輸送のために改良する線路を活用し、リニア中央新幹線「奈良市附近駅」から関西国際空港までの100km強の間に狭軌在来線利用の直通特急列車を走らせることも計画しています。

さらに、京奈和自動車道の建設、大和平野中央スーパーシティ構想の推進などにより、奈良県の北部と中部、南部が一体的に発展し、より多くの若者が奈良で学び、働くことにより、人口の県外流出をストップさせ、自立した、健やかで、楽しく暮らせる奈良県を創りたいと考えています。

これからの奈良県の発展が楽しみです。

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



ひかりちゃん てんいち先生

親からの手紙

「元気ね?今年も帰ってこるといいね」

今年の正月、故郷の親から届いた荷物と一緒にこんな手紙が入っていました。

18年前、私の子どもが生まれたその日のうちに九州から飛んできて、誕生を喜んでくれました。その後は、子どもの運動会のたびに大きな荷物を持って会いに来てくれました。私たち家族も当たり前のように毎年帰省していましたが、徐々に機会が減り、コロナ禍になるとますます減ってしまいました。そして、忙しい日々の中で、電話やメールを使って連絡することさえ減ってきたような気がします。

コロナ禍により、生活環境も人との関わり方も大きく変化しました。手紙を見ながら、物理的な距離だけでなく、心の距離までも離れてしまっていたことに

気付くと同時に、会えなくても心の距離は変わらない親の気持ちをうれしく思いました。簡単に会うことができない今だからこそ、さまざまなツールを活用して、心の距離を近くに保ちたいものです。

まずは、春の香りが漂う近所の公園を背景に、大きく成長した子どもの姿を撮影して親に送ろうと思います。

今月の標語&ポスター

人権啓発
私が始発



県立郡山高等学校 1年
かわいなるあき
河合 功晃さん

上牧町立上牧第二小学校 5年
もんぐちこゆき
門口 小雪さん

※学校名・学年は作品作成時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

反田恭平さんの
サイン色紙
を3名にプレゼント!



締め切りは4月30日
(消印有効)

ハガキにクイズの答えと、住所、名前、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。※個人情報は、プレゼントの発送以外には使用いたしません。

○にあてはまる数字を答えてください。

Q 奈良県の令和4年度予算額は?

A ○○○○億円

ヒントは
2ページ

2月号の答えは“27”でした。
応募総数3303件。



www.pref.nara.jp/
30222.htmや上記から
も4/1以降応募できます。